

# 土木遺産のある街を歩いてみよう

今回は「ねじり橋とめがね橋」のある街、三重県いなべ市をぶらりと散歩してみました。



## ① 片樋まんぼ

江戸時代後期、庄屋と村民が協力して横井戸を掘り、地下水による約1キロの水田用水を造りました。いなべ市では最長で、全国でも有数の規模を誇ります。市の文化財に指定され、現在も8ヘクタールの水田を潤しています。



## ② 大神社

奈良県大神神社の分社で、縄文時代後期の石剣や石棒が神宝としてあることから、かなり古い時代の建立と推定されています。慶応3(1867)年には、有栖川宮の御祈願所となり、幕・提灯が寄進されました。

## ⑤ 笠田大溜

伊勢風土記には、伊勢国の三大池の一つで野摩池という名であったと記されています。寛永13(1636)年、桑名藩主の松平定綱は、大泉新田と笠田新田地区の開発のため、この池を灌漑用に改造し、100ヘクタールもの水田を潤しました。



## ⑥ 笠田新田神明社・巖島神社

天照大神を祭る神社です。寛永15(1638)年の大洪水によって笠田大溜が決壊し、村人らが伊勢神宮に祈願してお札を祭ったのが始まりとされています。翌年、大溜に弁財天が現れ、そのおかげにより、溜池内の天の岩に分霊を祭ったとも記録されています。

## ⑦ 刻限日影石

笠田大溜の完成後、水田が増加し、用水不足による水争いが起こるようになりました。そこで、大泉新田の庄屋である懸野松右衛門が、弘化4(1847)年に日時計「刻限日影石」を建立。時刻を決めて分水したことで、長い間続いた争いがなくなったといわれています。昭和42年、三重県指定有形民俗文化財に指定されました。



## ⑧ いなべ公園

員弁大池のほとりにある、自然に囲まれた公園です。園内には5つの広場や3つの橋、遊歩道、噴水、シンボルタワーがあり、家族連れなど大勢の人たちで賑わっています。

## ⑨ 御菓子處 松乃屋

創業100年を超える老舗和菓子店。代表菓子「松の蘿」は、ふんわりとしたカステラ生地、厳選した北海道産小豆の自家製こしあんを挟んだ口どけのよいお菓子です。お土産にどうぞ。1個126円。



☎ 8:00~19:00 火曜 (0594)74-2056

取材協力・監修 いなべ市役所 商工観光課 ☎ (0594)46-6309